# 水辺愛護会からの活動報告

平成２０年度より行われてきた各地区の矢作川河畔林整備の取り組みについて、各地区の情報の共有を行うとともに、今後の継続的な活動に向けての意見交換を行うことを目的とし、矢作川上流域で活動する５つの水辺愛護会からの活動報告がなされました。

## 矢作川河畔林整備事業の活動報告会が開催されました。

矢作川河畔林整備事業

# おちあい

第12号

平成２８年３月

## 各愛護会からの報告内容-①

ここでは、各水辺愛護会より発表された活動内容や、将来の整備目標などについての報告内容をお知らせします。

## これまでの活動と整備の目標

平成28年3月19日、小渡自治区内の旭農林会館にて矢作川河畔林整備の活動報告会が開催されました。

この報告会では、「矢作川河畔林整備基本計画」が策定された平成19年度以降に、大河原自治区、下川口自治区、矢作自治区、笹戸自治区、小渡自治区の各自治区において設立された“水辺愛護会”より、活動内容の発表がなされました。

各水辺愛護会とともに、繁茂した竹の伐採や管理用通路の整備など、良好な水辺景観の保全活動や、矢作川を通じて地区内外の活発なまちづくり活動の場と成りうる空間創出を目指した活動について発表しました。また、情報共有や意見交換を行いました。

**○大河原水辺愛護会（大河原自治区）**

・愛護会は自治会が中心となって活動しています。愛護会活動への参加者は減ることなく、27年度は延べ130人近くの方に活動に参加していただきました。整備計画は今後も長く続きますが、参加者が減ることなく活動を続けていきたいと思います。

愛護会会長 澤田氏

**○縄文の里水辺公園愛護会（下川口自治区）**

・人と自然と喜びのあふれる地域社会をつくるまちづくりの一環として河畔林整備を行っています。将来子どもたちが生まれ育ったこの地に戻ってきたいと思えるような美しい矢作川の景観を創出するため、大沢池や水汲遺跡での活動と合わせ整備を行っていきます。

愛護会会長 澤田氏

**○矢作自治区水辺愛護会（矢作自治区）**

・美しい環境の保全、災害を防ぐ環境づくり、川に親しむ環境づくりを目的に愛護会活動に取り組んできました。川に親しむ機会が増えれば水辺の活用ももっと進むのではないかと、近隣のまちづくりの会等と協力して川とふれあうイベントも開催しています。

愛護会会員 池野氏

**○有間竹林愛護会（笹戸自治区）**

・愛護会では竹林を主体とする広大な河畔林を10年掛けて整備する計画を立て、主に景観整備に力を入れて竹林の管理を行ってきました。矢作川と集落とをつなぐ河畔林に親しみが感じられるよう、残りの5年の計画を進めていきたいと思います。

愛護会会長 原田氏

**○小渡セイゴ水辺愛護会（小渡自治区）**

・矢作川が人々の生活と密接に関わってきたことを踏まえ、道沿いや対岸からの景観が少しでも明るくなるよう、竹林の伐採を行っています。大変な仕事ですが、皆で協力することがつながりの強いまちづくりにつながるものと信じて取り組んでいます。

愛護会会員 鵜飼氏

## 活動の成果

竹の伐採により幼い頃に遊んだ水辺の風景が見られるようになりました。（大河原水辺愛護会）

活動により対岸からの風景は、景観が良くなったことを実感します。（縄文の里水辺公園愛護会）

県道沿いの竹を伐採し、対岸が見渡せるようになりました。（矢作自治区水辺愛護会）

伐採した竹を粉末化し、畑に肥料として撒く取り組みに協力しています。（有間竹林愛護会）

伐採した竹を利用して作りはじめた竹灯籠も今年で6年目になります。（小渡セイゴ水辺愛護会）

## 各愛護会からの報告内容-②

### 河畔林整備の課題

竹の“１ｍ伐り”を試みてみましたが、伸びた下草を刈るのに難儀しています。（大河原水辺愛護会）

川から流れてきたであろうゴミが河畔林に散乱しており、河畔林整備に支障を来たしています。（有間竹林愛護会）

急な斜面が多く、作業の際には気を遇います。（矢作自治区水辺愛護会）

### 地域づくりへの取り組み

・河畔林整備だけでなく、大沢池でのイベントやライトアップ、水汲遺跡での体験学習など、地域の資源を活かしたまちづくりを行っています。（縄文の里水辺公園愛護会）

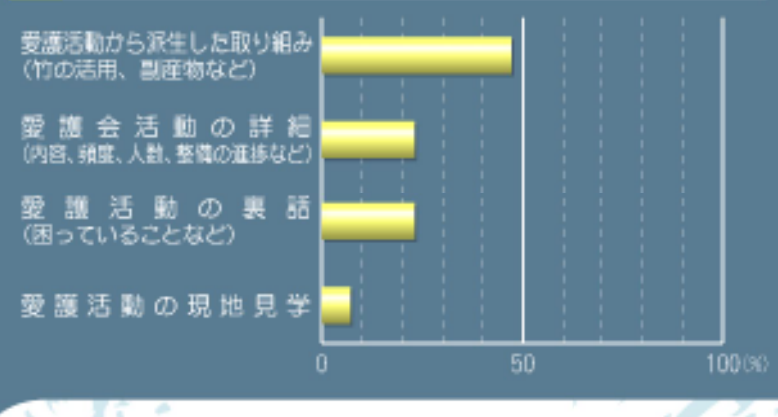
・昨年の夢竹灯籠と十五夜お月見会では、地域を強くしていこうという思いで、「糸」という字を竹灯籠で並べてつくりました。竹の伐採からつながる様々な交流を通じ、地域のつながりを強くしていければと思います。（小渡セイゴ水辺愛護会）

・河畔林から採れる良質な竹の子を収穫し出荷したり、調理した竹の子ご飯をイベント等で販売したりして、地区内外との交流を深める取り組みを行っています。
・また、地域の子どもたちを招いての竹の子掘り体験も行っています。（有間竹林愛護会）

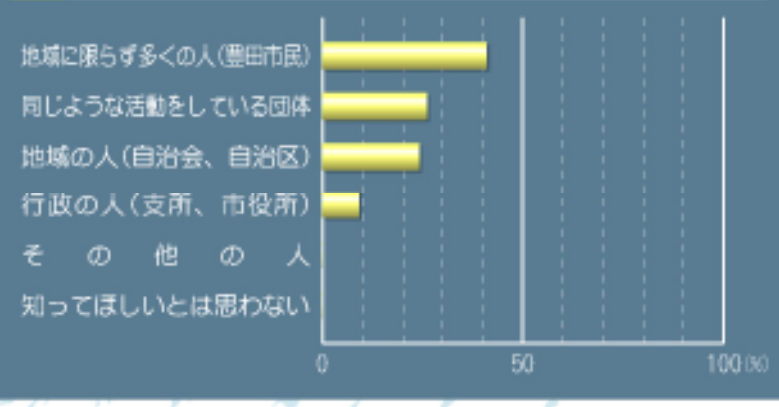
## ～活動報告会・参加者の声～

●活動報告会当日に配付したアンケートより、愛護会間の情報交流と情報発信についての回答結果をお知らせします（回答者：参加者２５名）。

**他の愛護会の情報として、どんなことを知りたいですか？(複数回答可)**




**自分たちの愛護活動をどのような人たちに知ってほしいですか？(複数回答可)**




**その他、自由回答の抜粋**

- ●各団体の取り組み等がわかった。
- ●他の団体の計画等が聞くことができ、大変参考になった。
- ●情報交換に大変良い機会と感じた。

## お知らせ

- ●竹皮には殺菌効果があり、日本では昔から食品の包装に使われるなど、生活に欠かせないものでした。しかし現在ではそのほとんどが中国などの外国産となっており、国産の竹皮を扱う業者さんが竹皮（真竹に限る）を拾って出荷してくれる人を探しています。
- ●「おいでん・さんそんセンター」では昨年に続き、岐阜県可児市の竹林で業者さんから竹皮拾いのコツを教わるツアーの開催（６月中旬）と、出荷の仲介を行います。
- ●ご興味のある方は、「おいでん・さんそんセンター」までお問合せください。
- ●**おいでん・さんそんセンター**　ＴＥＬ：０５６５－６２－０６１０
  住所：豊田市足助町宮ノ後２６－２（足助支所２階）

## ～活動報告会を終えて～

・今回ご紹介した活動報告会には、矢作川上流域の愛護会のほか、河川管理者、学識経験者、近隣自治区及び行政関係者、矢作川中流域の愛護会など、約６０名の参加がありました。
・各愛護会からの報告により、河畔林整備の課題や目標など、地域間での情報共有が行えるとともに、皆さんの活動が地域にとってかけがえの無いものとなっていることを再認識することができました。
・今後も矢作川の良好な景観や自然環境を維持・創出するため、愛護会の皆さまとともに、河畔林整備事業に取り組んでいきます。

## お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想等お気軽にご連絡ください。

豊田市　建設部　河川課
（矢作川研究所：川上、山本）
でんわ:0565-34-6860 ／ ＦＡＸ:0565-34-6028
（計画担当：村田、近藤）
でんわ:0565-34-6672 ／ ＦＡＸ:0565-33-2460

◆カワセミはコバルトグリーンの美しい鳥で、川辺や石の上からダイビングして、水中の魚や水生昆虫をとらえます。

◆「かわせみ」は、豊田市が行う矢作川河畔林整備事業において、カワセミのように川に接する機会の多い地域の皆さまの視点でとらえた意見をお知らせするために作成しました。